

# アートを通じた地域活性化

現代美術作家の視点と仁保・徳地の地域資源

主催：仁徳地域商会「語り場」

日時：2021年10月9日（土）14:00 - 16:00

発表者：鈴木啓二郎

鈴木啓二郎

[www.keijirosuzuki.com](http://www.keijirosuzuki.com)

異分野横断型現代美術作家

1981年生まれ、愛知県名古屋市出身、山口市在住

名古屋市立大学人文社会学部国際文化学科学士課程修了（2004年）

アメリカ、ヒューストン大学大学院美術学部彫刻科修士課程修了（2010年）

第10回やまぐち新進アーティスト大賞受賞（2018年）

山口現代芸術研究所（YICA）理事（2021年度代表）

国内外のアート関係者などと連携し、作品制作、リサーチ、企画運営などを通して、「人生観」、「地域社会」、「価値観」などに関わる芸術文化活動に携わる。

これまでに、アーティスト活動と共に、展覧会企画、リサーチ、翻訳、通訳、デザイン、アート・ディレクション、執筆、講師、アート・コンサルティングなど、国内外で活動。

“アート、アイデア、知恵による社会や生活の質の向上”

## 1. the Rock Cycle Yamaguchi（リサーチ）

科学 x 芸術 の融合企画（山口大学アカデミックセンター、Creative Scotlandなど、国際的な協力を得て実現した3年にわたるプロジェクト）

山口県内制作リサーチ

2019年2月

<https://the-rock-cycle-yamaguchi.tumblr.com/>

<https://www.keijirosuzuki.com/tokujiwashi>

<https://www.pierartscentre.com/>

## 2. 山口現代芸術研究所（YICA）遍在するビューポイント（国際展覧会/国際交流）

遍在するビューポイント（国際展覧会&シンポジウム）

西洋のパノラマと東洋の山水図について。

多声的、多視点的な物の見方や表現の実践。

主催：山口現代芸術研究所（YICA）

会場：山口市菜香亭、C.S.赤れんが

2019年11月

<http://yical998.com/>

[https://artscape.jp/report/curator/10166467\\_1634.html](https://artscape.jp/report/curator/10166467_1634.html)

### 3. こどもとアート（教育）

やまぐち街なか大学 しょくぶつのこと

観察力、分析力、判断力、想像力、発想力、記憶力、表現力を育てよう！

仁保地域交流センターから隕石の落ちたお寺までの観察ウォーキング

2020年11月

<https://idom.jp/>

### 4. I.D.Works 新入社員研修（研修）

テーマ：社会を良くするアート

会場：仁保地域交流センター

観察撮影ウォーキングとアート講座

（午後は帰郷庵にて、スラックライン講師三由野さんの講座）

2021年4月

<https://idworks.co.jp/staffblog/>

### 5. 中原中也記念館 「中也の詩集をいま作るなら……」（無形有形地域資源活用）

特別企画展 書物の在る処—中也詩集とブックデザイン

特別コーナー「中也の詩集をいま作るなら……」

《山羊の歌》 ブック・デザイン・プロジェクト

素材：千地松和紙工房など

2021年8月

<https://chuyakan.jp/news/2021bookdg/>

## YICA(イッカ)アート講座 アーティスト・プレゼンテーション

vol.  
03

「本をよく読むことで自分を成長させていきなさい。本は著者がとても苦勞して身に付けたことを、たやすく手に入れさせてくれるのだ。」  
— ソクラテス



### 《アート対談》

山口現代芸術研究所(YICA)の活動や所属するアーティストによる作品をプレゼンテーションや対談形式でご紹介します。アーティストの視点、アイデア、手法など、アーティストの活動や現代美術及び地域文化芸術の周知や教育普及を一般の方々を対象に実施する講座です。



池田誠

中原中也記念館学芸員

2005年から中原中也記念館に勤務。2018年、YICAとのコラボレーション企画展「山口盆地考2018.....吹き来る風が.....」を担当。専門分野は日本近代文学研究、特に大正・昭和のモダニズム文学。YICA賛助会員。大学時代は演劇にどっぷりはまり、その後、大学の卒業が近くなり、演劇熱もやや冷めかけた頃、大野一雄の舞踏を観て衝撃を受け、今度は踊りの世界へ。以後、身体と言葉の関係に関心を抱きつづけ、今に至ります。「日々の生活が舞踏」という元藤禅子先生の言葉は忘れられません。舞踏に関連して、ネオダダなど1960~70年代の前衛芸術について興味があります。



中原中也、永遠の風景

中原中也(1907-1937)。彼は美の核心を知っている詩人でした。「僕は美の、核心を知っているとおもふのですが/それにしても辛いことです、怠惰を這(のが)れるすべがない!」  
(中原中也「憔悴」から)

中也を読むひとりの哲学研究者と、中也のことなら何でも知っている学芸員が、中也が見ていた「美の核心」のまわりを歩きます。「夜は夜とて星をみる/あゝ空の奥、空の奥。」



上野修

大阪大学名誉教授、研究者(哲学)  
山口大学時間学研究所客員教授

アート活動は…ありません。非活動者です。ミレニアム前後の10年あまり、YICAの奥津聖さんらと山大でフカン研究会を共同主宰していました。2004年から大阪大学に移っていましたが、退職とともに帰山。ロッテルダムに何度か滞在することがあって、ボイマンス美術館、Kunsthal Rotterdam, Het Nieuwe Instituut などによく足を運びました。専門はスピノザ研究です。YICA理事。

2021年10月15日(金) 19:00 - 20:30 山口情報芸術センター [YCAM] 多目的室

**定員&申込** 一般の方を対象に先着20名を定員として開催します。以下のメールアドレスへお申し込みください。

**コロナ対策** 外出前の検温、マスク着用、入館時の消毒など、コロナ感染拡大防止にご協力ください。

**記録撮影** 今後の企画周知、報告、アーカイブのための記録撮影にご協力ください。

FREE

✉ [yica.since2020@gmail.com](mailto:yica.since2020@gmail.com)





Photo: Keijiro Suzuki / 中原中也「道く夏の歌」/ 山口市榎野川

YICA アート・ウォーキング 2021

# 中原中也、永遠の風景

山の端は、澄んで澄んで、  
金魚や娘の口の中を清くする。  
飛んでくるあの飛行機には、  
昨日私が昆虫の涙を塗っておいた。

(中原中也「道く夏の歌」より)

## 【概要】

中原中也は散歩好きでした。歩く詩人はときおり永遠を見る。彼の詩の風景は時間が止まったかのように輝いています。わたしたちも詩集片手に歩いてみましょう。「また見付かった。／何がだ？ 永遠。」(中原中也訳 ランボー「永遠」より)

## 【開催期間】

2021年8月下旬から11月9日(火)までの各自の好みの日・好みの時間

## 【参加方法】

1. 中原中也の詩を自由に読んでみる  
(Aozora Bunkoを参照 [https://www.aozora.gr.jp/index\\_pages/person26.html](https://www.aozora.gr.jp/index_pages/person26.html))
2. 空の下、必ず1人で歩く
3. フォト、または動画を撮影する  
(日付とエリアを記載、中也の詩の一片をキャプションとして添付)  
【動画の場合は朗読音声でも可、60秒以内】
4. 作品の提出 [1人3点まで]

## 【提出期限】

2021年11月9日(火)

## 【提出先】

yica.since2020@gmail.com

\*インスタグラムのアカウントをお持ちの方は、Emailでyica.since2020@gmail.comへ作品の提出とともに、以下のハッシュタグやキーワードなどでご投稿ください。  
@YICA\_since1998 #artwaking #中原中也 #中原中也\_永遠の風景

\*\*ご提出いただいた作品はインスタグラムで共有させていただき、2021年12月10日から12日に開催予定の展覧会《遷在するビューポイント3 - Our New Normal -》や関連アーカイブなどで発表させていただきます。

## 【問い合わせ】

山口現代芸術研究所 (YICA)  
yica1998.com  
[www.instagram.com/yica\\_since1998](http://www.instagram.com/yica_since1998)  
[www.facebook.com/yica1998](http://www.facebook.com/yica1998)

